

「森の貸しもの屋」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、落葉樹の里山です。国内では、鹿児島から北海道まで広く分布しています。

ナラ属、シデ属、カエデ属などの種で構成されています。

どんぐり

ブナ科の樹木の実をどんぐりと呼びます。丸々としたものから、細長いもの、大きいものやら、小さいもの。殻斗かくと（ぼうし、はまかの事）の形も、とげとげしたものから、丸いものまで、色々。ぜひ、探して、観察してみてくださいね。

登場する樹木、動物、植物などから、このおはなしの舞台は、兵庫県六甲山と想定しました。

KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。
HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp



絵本活用のヒント

第5回中高生の部金賞受賞作品

「森の貸しもの屋」



KOBELCO 森の童話大賞について

森はたくさんのいきものの命を育み、空気をきれいにし、水をたくわえ、私たちの暮らしに安全と豊かな恵みを与えてくれます。でも、一度森が元気を失ってしまうと、元通りにするには長い年月と、大変な努力が必要になります。

このような「森」を理解し、大切に育てる心を、次の世代を担う子どもたちに育んでもらうため、神戸製鋼グループは「森」をテーマにしたおはなしを募集し、絵本を作っています。

この絵本を読んで、一人でも多くの子どもたちが、森をはじめとする自然について考え、かけがえのないものであると気づき、そして、いつか、森を、自然を、元気することを何か一つでも実行していただければと思っています。

「森の貸しもの屋」の世界



オオルリ (オス)

ウグイス、コマドリと共に「日本三鳴鳥」の一つ。
日本には4月～5月頃、夏鳥として九州以北に飛来。
溪流沿いや、湿地に面した森など、水辺を好む。



キビタキ (オス)

5月上旬ごろから夏鳥として、
全国の平地から山地の落葉広葉樹林に渡来。



クヌギ (雄花)

クヌギは雄花、雌花が別の風媒花で、4-5月頃に咲く。
雄花は、黄色い10cm程の房状に小さな花をつける。
雌花は葉の付け根に、非常に小さな赤っぽい花をつける。



クヌギ (果実)

球形で直径が2cm程で大きい。
半分は椀型の殻斗かくと (ぼうし、はかま) に包まれている。



ショウジョウバカマ

北海道から九州までの、
やや湿った場所に生える。